

第7回 仙北市議会 12月定例会

(平成23年11月30日～12月21日)

平成23年度
仙北市一般会計補正予算
5,560万円を全会一致で可決する。

議員提出議案

議員定数を3人減の19人とする条例案を可決 (賛成多数)

議員報酬を5%引き下げる条例案を可決 (全会一致)

議員提出議案 議員定数「22人」を「19人」に改める

高橋議員の提案理由の説明

(次期改選時より)

地域経済情勢の悪化少子高齢化に伴う人口減少(5年後、約2万7千人)、仙北市財政の逼迫等により一層の効率化が求められている。

議会改革の中で特に議会経費の削減は議員定数、報酬の削減である。

政治は幅広い分野、年齢、地域の層に門戸開くことが必要である。

一概に定数を減らすことは門戸を狭めることになり、一方で報酬を限りなく削減することは時間とお金に余裕のある人が多くなる。

次代を担う若者は時間的、金銭的にも余裕があるといえず政治に挑戦し難い状態を作ることと考

える。

地方分権時代において、これまで以上に議会

は専門性が求められることから報酬を限りなく削減していくことは逆に限

られた人しか挑戦出来なくなる。

誰もが挑戦できる専門性を備えた議会へと大幅に舵取りをすべきである。

少数精鋭であれ中身や質が大切であり、住民から信頼される、頼れる議会へと議員自ら改革して行く意欲のある人が出てきてもらいたいし、内容の濃い議会にすべきとの思いから議案を提出す

る。

議員提出議案に対し
平岡議員の反対討論

行政に対して議会は広く住民の多様な意見を細やかに吸い上げ、反映させることである。

定数が削減されると広いエリアの仙北市は市民の声が反映できなくなる。

2名減になってから2年も経っていないし、や

るべきことは2名減になった時点で検証してからも定数削減は遅くはない。

以上の理由で本案には反対する。

採決の結果、賛成18名
反対2名で可決する。

引き続き議員報酬を5%引き下げる議員提出議案は全会一致で可決する。

議案の撤回 その1

ちづくり基本条例制定
について

まちづくり基本条例は仙北市と市民が協働してまちづくりを進めて行くという条例であり、進める上で職員の関わり方や職員の資質向上、意識改革を進めまちづくりに

どのように立ち向うかについて明文化するものがあるが(議会から、市民を指導する立場にあるかのように書かれている一方、行政自らの変化

について言及がない。市と市民は対等であるという原則が意識されておらず行政側の視点で作

られている。

他市の条例は市民が政策立案過程に市民が参画できるようにするとうたわれており、むしろ市民が市政に関わりを持つという方向で書かれている。

仙北市の協働の条例ではそうした条項は一切書かれていないことを議会は指摘する。)内容に更なる調査、検討を要する事項があることから市長より撤回の請求が出され、これを議会は承認する。

議案の撤回 その2

仙北市基金条例の一部を改正する条例制定
について

奨学資金の貸与を希望する生徒に、仙北市では仙北市奨学資金条例、田沢湖町奨学資金貸付基金条例、それに民間団体である角館町育英会の奨学規定に基づいて貸与している。

新年度よりこれを一本化した制度により奨学資金の貸与を行う条例の改正である。

しかし、田沢湖町奨学資金貸付基金の財源とし

るべきことは2名減になった時点で検証してからも定数削減は遅くはない。

て昭和49年に生保内財産区より1,400万円、昭和50年に田沢財産区より1,000万円が繰り入れされている。今回の条例改正案を提出する前に生保内、田沢両財産区管理会の承諾を得るべき所を承諾を得ないまま議案提出したことにより手続において不十分であり教育長より撤回の請求が出され、これを議会で承認する。

**一般会計補正予算
歳出の主なもの**

◎クニマス里帰りプロジェクト事業費
富士河口湖町で平成24年3月にクニマスの調査研究をしている機関が現状の報告や今後の展開を協議する会議へ出席する旅費4名分 27万円

◎地域運営体活動推進費交付金
角館地域に角館まちづくり地域運営体が設立され、活動を支援する交付金 500万円

◎障害者自立支援給付費
障害者の福祉サービス利用者の増加による(角間川更正園、こうせい)

里、愛仙等)
新年度より福祉サービスの法律改正により円滑に移行するため各施設に対して特別対策費として助成するもの、その他補装具等 1,173万円

◎既存施設スプリンクラー等設備整備費
かたくりの里(西木町)へスプリンクラー設置の補助金 211万円

◎くらしの安心サポート推進事業費
各地域センターの要望により除雪機3台、草刈機2台、管理機1台、投光器4台、発電機2台等を配置する費用 901万円

◎老人福祉施設措置費負担金
寿楽荘が民営化により事務費改定の差額分と1名増による措置費 250万円

◎既存施設防火改修等整備事業費補助金
たんぼぼ(角館)に地震防火対策に必要な壁等の補強に対する補助金 650万円

◎こどものえき設置事業費
花葉館、平福美術館田沢湖図書館へ、おむつ交

換台、ベビーキープ、ベビージェア、ベビेशー ト等 171万円

◎生活保護費
340世帯、475人に対して生活、住宅、医療、介護扶助費 2,635万円

◎市営住宅管理運営費
菅沢住宅の白アリ駆除、給湯器、ガスの修繕費と除雪機械貸上代 341万円

◎福島つ子と秋田つ子の冬期交流事業費
紙風せんづくりの交流(松木内小)、燈火祭での交流(白岩小)、剣道部となべっこ郷土料理の交流(生保内小) 195万円

◎一般教育振興総務費
平成24年度教科書の改正により市内中学校5校分の職員用教科書購入費 317万円

(田口(喜)記)



議決結果／議員賛否 (平成23年 第7回 仙北市議会定例会 (招集日：11/30 最終日予定：12/21))

※議案第96号は可否同数のため法律に基づき議長の裁決による
※議案第116号及び第123号の2議案は原案撤回のため議決結果なし

凡例:賛→賛成、反→反対 (議長は、法律に定める特定のケース以外では表決をしないことになっています)

議案番号	会派及び氏名等 件名	議決 年月日	議決 結果	民 政 会 議				仁 政 ク ラ ブ				翠 巒 会				新 星 会		日 本 共 産 党		会 派 員 議 員		
				伊藤 邦彦	阿部則比古	狐崎 捷琅	門脇 民夫	佐藤 直樹	黒沢 龍己	田口 寿宜	安藤 武	小林 幸悦	藤原 助一	田口 喜義	荒木田俊一	青柳宗五郎	高橋 豪	八柳良太郎	高久 昭二	平岡 裕子	熊谷 一夫	小田嶋 忠
議案第96号	平成22年度仙北市一般会計歳入歳出決算認定について	11/30	原案不認	賛	賛	賛	賛	反	反	反	反	賛	賛	賛	賛	反	反	反	反	賛	賛	反
議案第101号	平成22年度仙北市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	11/30	原案認定	賛	賛	賛	賛	反	反	反	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
議案第103号	平成22年度仙北市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	11/30	原案認定	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
議案第117号	仙北市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	11/30	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	反	賛	賛	賛	賛
議員提出議案第16号	仙北市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例制定について	12/21	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛